

石、砂、砂利を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	9～10	自社資材置場において石材の整理整頓作業中、資材が氷っていたため滑り、右手薬指の先を挟む。	59	30199	7	10～29
2017	1	13～14	石製品を運ぶため、屋外で、パレットに手作業で、製品を積む作業をしていた。製品には部分的に雪が凍りついていた物もあったため、パレットに移す際に、手が滑ってしまい石と石の間に手を挟んでしまった。	42	10909	7	1～9
2017	1	14～15	被災者は持ち場で列車見張り業務を行うため、駅方面にある持ち場に向かって線路脇を歩いていた際、駅から約500m歩いた持ち場付近で不注意により砂利に足をとられ、転倒して負傷した。	50	170201	2	10～29
2017	1	11～12	配達に伺った際、階段を上っている途中に足元のレンガを見落として、これに躓いて転倒、左足首部分を骨折した。	35	40301	2	50～99
2017	1	13～14	お客様宅の庭で石柱を移動中に、150kgの石柱を4人で持って運搬しようとした時にバランスをくずし、腰を痛めてしまった。	44	30199	19	1～9
2017	1	3～4	ダンプで道路舗装工事現場に舗装材料を卸しに行った際、材料を降ろした後ダンプの荷台にのり合材をスコップで寄せる作業中に体をひねり、背中と肩を痛めた。	64	40301	19	10～29
2017	1	16～17	解体工事現場において、長さ1.5mほどのコンクリートガラを人力（3人）で抱えて移動させていた際、バランスを崩し、革手袋から手が抜けてコンクリートガラが足の上に落ち、右足の第2・3趾、左足の第4趾を骨折した。	16	30202	4	1～9

2017	2	13~14	生コンクリート工場骨材ヤードにおいて、凍結した砂の影響によりホッパーが詰まりを起こしていた為、詰まった砂の状況確認をホッパー上部にて行う際、足元の砂が崩落したことで、試験員もホッパーに転落した。上半身胸部あたりまで砂に埋もれ圧迫により身動きが出来ない中、ホッパースチームから噴出される高温蒸気にさらされ両脚に熱傷を負った。	62	10901	1	10~ 29
2017	2	8~9	製造第三工場で脱型作業中、開口部の内枠を外すため、ハンマーで枠を叩いて押し出そうとした際に、左手が製品の開口部のタイルに接触して受傷したものである。	29	10901	3	30~ 49
2017	2	10~11	資材置場を整理中、板石の積み直しをしていて、持った石を置く際に、石が滑って下にあった石との間に、右手小指を挟んでしまい小指を負傷した。	44	30199	4	10~ 29
2017	2	16~17	ブロック（435kg）のコンクリートブロック（A）をバックホウ0.25?（1.5t吊：SH75）の吊り上げによるブロックの取付作業中、当時の天候は曇り時々晴れであり、作業箇所上部（工所用道路）には作業指揮者を設置していた。被災者は取付直後のブロックをバールを使用し、方線に合わせようとブロックAを地山側へ微調整を行った。その瞬間にブロックが被災者にもたれ掛かるように倒れて来た。被災者は胸部付近でブロックを受け止めるような体勢でブロックに挟まれた状態になった。	68	30107	5	10~ 29
2017	2	13~14	1号スプレー建屋2号鉄ボールミル（粉碎機）を使って原料を粉碎し、スラリー化する作業後にボールミルの排出口からスラリーを排出しようとしたがスラリー排出（エア圧送）が出来なかった為、エア抜きを行わず排出バルブ内の状態を確認する為に排出バルブを開けた際、内圧の高いミル内部のスラリーが勢いよく噴出し、作業者の両目に入った。	63	10903	4	50~ 99
2017	2	11~12	家庭ごみの収集作業中、両手にごみ袋を持ち、パッカー車に投入しようとした時、こぶし大の石が、道路際に転がっているこ	40	150103	19	50~

			とに気付かず、踏んで右足を捻挫した。				99
2017	2	11~12	墓地で巻石の撤去工事中、全体の延石を外していた時に側面の延石が当たっていて動かなかった後面の延石が、側面の延石を動かそうとした時に、倒れてきて、足を挟んだ。	62	10909	5	1~9
2017	3	11~12	自社作業場にて、作業場内の土をダンプで下ろしていてアオリの調子が悪く調整していたところ、急にアオリが開いてしまいダンプ1杯分の土が急激に落下し、体に直撃し右胸を負傷した。	49	30202	5	10~ 29
2017	3	13~14	庭園工事の石組作業中に、左足を石と石の間に挟まれた。	60	30199	7	1~9
2017	3	3~4	60ccバイクにて朝刊の配達途中、配達先に新聞を入れた後、宅から道路までの砂利道を歩行中、砂利に左足をとられ挫いてしまい、左足関節を負傷した。	35	80205	19	10~ 29
2017	3	10~11	解体工事現場内でコンクリート殻を拾う作業を行っている際、解体コンクリートの欠片が落下し、コンクリート塀とコンクリートの欠片に左手の親指と人差し指の間が挟まり裂傷した。	22	30202	7	10~ 29
2017	4	10~ 11	現場でブロック（200×400）を積む作業をしている時、低い姿勢から持ち上げたと同時に背中に激しい痛みを感じ、立つことができなくなった。	24	30199	19	1~9
2017	4	15~ 16	現場で石を直す作業中、前の石を動かした際に立石が倒れてきて、右腕がはさまれた。	81	30199	5	1~9
2017	4	9~ 10	石材検品作業場において、輸入石材を木枠梱包してある箱から取り出す際に、約450kgの重さの石を縦にしてある状態から横に倒さないとユニックで吊ることが出来ない為、そばにいた他の作業員と共に、手で横に倒したところ、下の角材との間に指が挟まってしまった。瞬間指を抜いた所、右手人差し指の第一関節の先の肉片が剥がれ、中の骨が見える状態になった。通常そのような重さの石は横にした状態で梱包されて来るのだが、縦になっていたため、人力で倒し最後まで手をかけていた被災者が指を挟まれて	65	80209	7	1~9

			しまった。				
2017	4	10～ 11	トラック道新設現場に於いて、何段も石と丸太を組んで道を作ったので、足場の下から丸太に手を置いて上に上がろうとしていた所、法面にあった約30cm位の石が移動していた重機の振動で左手中指に落ちた。	60	30106	4	1～9
2017	4	11～ 12	玄関前の板石張り工事終了後、使用しなかった影石を一輪車に乗せて片付ける際に、タイヤが縁石に乗り上げてバランスを失い、石がころび落ちて右足第1趾、2趾を直撃した。	28	30199	4	1～9
2017	4	11～ 12	処分場コンクリートがら置場横にて小割作業をしていた時に、鉄筋の付いているがらを分別していたところ、引っぱった反動で、上のコンクリートの塊がすべり落ちてきて右手親指をはさんで粉碎骨折を負った。	31	30309	5	30～ 49
2017	5	12～ 13	清掃中に浴室と露天風呂の間にあるドアをストッパー代わりにしていた重石を、足で動かそうとしたところバランスを崩して転倒し、床に右肩をつき骨折した。	54	150101	2	50～ 99
2017	5	9～ 10	山林で作業道開設のため伐開作業中、チェーンソーの燃料タンクが斜面下方に落ちたため、それを取りに斜面を10m程下った場所で、上から拳大の石が顔面をめがけて転がって来て当たりそうになり、右手で顔面を防いだ時に右肘に石が当たった。	33	60201	6	1～9
2017	5	9～ 10	資材置場（土場）にて、石の片付け作業中に、約40kgの石を地面に置く際に、石と地面に右手薬指先を挟まれ骨折した。（当社には事務所、倉庫、土場に常駐する従業員はいない。）	34	30201	7	10～ 29
2017	5	13～ 14	工場内の砂置場にて、ポンプを移動させようとした時に、砂と石が飛んで来て右目に当たった。砂と石がどうして飛んで来たかは不明である。	31	150102	4	30～ 49
			現場内にて、2tダンプトラックの荷台に積載した落蓋式横断側溝（250）を荷卸しのために吊り金具の調整を荷台の上で行っていた				

2017	5	13~ 14	際に、それを手伝うために2tダンプトラックの側面より乗ろうとしていて、傾いていた側溝とボディの隙間に左手を掛けたときに吊り金具の調整を行っていた人の足が側溝に乗り、製品が動いて左手を挟んだ。	28	30106	7	50~ 99
2017	6	16~ 17	盛土材料（土砂等）の仮置場にて、タイヤローダーで盛土材料を仮置場に運搬するためにバックをした際、土砂等で盛り上がった部分に乗り上げてしまいバランスを崩し、タイヤローダーが横転したものである。	21	30106	2	10~ 29
2017	6	12~ 13	クリニック駐車場にて、検査伝票を業者へ渡そうとした際、駐車場ブロックに躓き転倒し、右手首を左膝を負傷した。	52	130102	2	1~9
2017	6	9~ 10	当社の資材置場にて、倉庫に保管していたコンクリートブロックを工事現場に運搬するために、2tダンプの荷台に載せる作業中に、ブロックを左足首に落としてしまい、被災した。	43	30109	4	10~ 29
2017	7	16~17	会社の資材置場にて、資材のコンクリート蓋を車に搬入する際に手を滑らせ、右足の上に蓋が落ちてしまった。	23	30203	4	1~9
2017	7	16~17	土間の撤去が終わりトラックで運搬したガラ袋を持ってコンテナの後に来た時置いてあったガラ袋に隠れていた差し筋アンカーに左足の外側が当たり打撲した。翌日になっても痛みが引かなかった。骨折していた。	65	30199	4	1~9
2017	7	15~16	K-2岸壁荷捌地にて本船から揚げられた製材を被災者は7tフォークリフトを運転し、所定の位置まで運搬、配付け作業を行っていた。そして既に配付けされていた製材6束6段（1束：長さ4m幅0.7m高さ0.8m重量約1.5トン）の前に製材2束を配付けしようとしたところ、製材6束の配がくずれてきて、最上段の1束がフォークリフトヘッドガードに落下し押しつぶれたヘッドガードと座席に挟まれ負傷したものである。	43	30309	5	1~9
2017	7	15~16	集配先の砂利でバランスを崩し、足首を捻り負傷した。	28	40301	19	100 ~

									299
2017	7	16~17	みかんの摘果作業中に石につまづき転倒して、左手をついて、左手首を骨折した。	68	60101	2		1~9	
2017	7	11~12	作業場で片づけの作業中にあやまって手で動かしていた天然石で指を挟んでしまった。	36	30107	7		1~9	
2017	7	9~10	現場にて足場材片付け中、解体コンクリート塊が、約9mの高さから落下し、片付け中の作業員の頭上・肩に当たり、ヘルメットを着用していたが頭部・肩を負傷した。	23	30201	4		10~29	
2017	7	11~12	工場内にて作業中に歩いているとき、雨が降っていたため水溜りの中を歩いてしまい、転がっていた石を踏みつけて、足を捻り挫いてしまい、膝を痛めた。	31	11709	19		10~29	
2017	7	14~15	駐車場の側で草刈機を使い草刈作業をしているときに、小石が草刈機にはじかれ、右目に飛んできた。右目に5mm程度の小石が刺さった。	63	130201	4		100~299	
2017	7	14~15	当社中間処理施設のプラント構内を歩行中、置いてあったアスファルトガラに気付かずに躓き、右足を負傷したものである。	46	150102	2		30~49	
2017	7	17~18	空箱を回収し、組合員宅の玄関先の階段から降りるとき、階段に落ちていた石に乗り上げ、左足の内側を捻った。その後、痛みと腫れが出てきたため受診したところ、骨にひびが入っていると判明した。	32	80201	19		30~49	
2017	7	7~8	土木建築材料店に材料引取りに出向いた際、資材をダンプに積み込むためステップとして積んである敷石に乗り、ダンプの荷台に乗ろうとしたところ、敷石が崩れ、崩れた石が左足に落ち、足（踵）が挟まれ、踝辺りを切創した。	25	30309	5		1~9	
2017	7	10~11	勤務先マンションにて清掃作業中、隣家の住民から植栽が越境していると言われ、剪定しようと、固定されている1段積みのブロックに乗って作業したところ足を踏み外し、左足首を捻り、左足踝	61	150101	19		1000~9999	

			を骨折した。				
2017	7	11～ 12	自車最終処分場でガレキの荷下ろしをしていた際、ダンプの後部扉を開けたときに、中のガラが左足の上に落下した。	45	150102	4	30～ 49
2017	7	10～ 11	敷地内で、コンクリートの平板（重さ5kg、30cm角）を設置していたとき、腰に痛みが生じた。	41	30199	19	10～ 29
2017	7	9～ 10	営業所構内で出荷作業をしていた際に、沓脱石（60cm×30cm×H30cm、重量約30kg）をパレットからパレットへ移そうとして横滑りさせていたとき、右手人差し指を石とパレットで挟み負傷した。	63	80109	7	10～ 29
2017	7	9～ 10	残土置場にて、石の加工のため、石を選別していたとき、上から転がってきた石に右手を挟まれ負傷した。	63	30199	4	10～ 29
2017	9	11～ 12	本社製材工場の土場で、被災労働者は、フォークリフトで製材を運搬する作業をしていた、フォークリフトのフォークの載せていたパレットの上に上がり作業し、パレットから地面に下りようとした時、誤って右足で地面にあった石を踏んで、右足首を負傷した。	34	10409	3	10～ 29
2017	9	11～ 12	資材置場にて、廃材分別中に、ブロックベイがたおれてきて、右足の足首とふくらはぎを骨折した。	20	30309	5	1～9
2017	9	10～ 11	作業場に於いて、墓地新設に使用する石材90cm×90cm×15cmをカットオフを使って加工し台から降ろす際、石が台からすべり落ち、右足を負傷した。	35	30199	4	1～9
2017	9	16～ 17	外溝工事においてコンクリートブロック積工事の際、ブロックの穴に指をひっかけた状態で両手で一個ずつ持ち運んでいた時、地面に置いてあったブロックにけつまずきブロックを持った状態で地面に突いた際、左手中指が反り返り負傷する。	69	30199	2	1～9
		16～	庭の解体工事において、石版（200cm×30cm×3cm、6枚、100kg程度）をユンボで吊って（高さ20cm～30cm程度）移				

2017	9	17	動させていたとき、1t対応のベルトが切れてしまい補助作業をしていた被災者の左足の甲に落ちてしまい、中足骨4本を骨折したものである。	45	30202	6	1～9
2017	9	10～ 11	圃場の中の植木を剪定中、こけて手をついた時に手首を捻挫した。	60	170209	2	—
2017	9	15～ 16	住宅地周辺整備工事において、防げとなる雑草を草刈機で刈る作業中、足元にあった石につまずき転倒、そのはずみで地面に手をつき右手首を骨折、負傷したものの。	70	30209	2	1～9
2017	9	17～ 18	現場作業を終え倉庫に帰り、軽トラックから機・資材を荷降し中、セメントの入った容器を地面に降ろした時、地面に着いたショックと風で舞い上がったセメントの微粉を顔面に浴び、両眼にも入った。	66	30110	4	1～9
2017	9	10～ 11	検針枚数261枚を持参し自宅を四輪で出発、作業開始。当該現場に到着、検針実施後、お客様宅のポストへ検針票の投函を終え、次の現場へ向かおうとした際、砂利の庭先途上で小石（凹凸）につまずき、ブロックに右手を突いたと同時に、ブロックで額を強打した。	59	170209	2	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	新築家屋前の路上で、掘用のブロックを移動している時に、別のパレットに積んであったブロックが、積み方が不安定であったため倒れてきて、左足親指を負傷した。	23	30202	5	1～9
2017	10	16～ 17	伐採作業中に落石があり、石が左足の甲に当たり負傷した。	29	60209	4	10～ 29
2017	10	14～ 15	古い墓石の撤去のため重量約1tの石材を移動式カニクレーンで後方の石垣に傾けて倒そうとしていたところ、クレーンで吊っていた石がかたむいてブランコ状態になり、クレーンが浮いて戻ってきた吊っている石と下の石との間に左足先が挟まれて負傷した。左足甲（指付近）が腫れている。	45	10909	7	1～9

2017	10	14~ 15	工事現場にてブロック積の作業中、日頃、持ち上げる時より少し 広く持ち上げてしまい、その時に腰に痛みを感じたが作業を続け られるくらいだったので、その日も定時まで作業して、翌日から も出勤していた。	69	30107	19	1~9
2017	10	10~ 11	保安柵で囲んだ現場内で、既設側溝を取り壊した後の休憩中に、 車道側から歩道へ取り壊したコンクリート塊の上に乗って渡ろう とした時コンクリート塊が不安定で動いたため、左向きに転倒し 左手を付いたが、コンクリート塊の間に腕が入り骨折をした。	44	170201	2	50~ 99
2017	11	10~ 11	山林にて間伐作業中に、胸高直径約15cm、樹高約10mの立ち枯れ の木を伐倒したところ、隣の立木に当たり、伐倒木の上部が樹冠 から約1/3の部分で折れて受傷者に落下してきた。それを右手で払 い避けた際に右肩を負傷した。	62	30199	4	1~9
2017	11	14~ 15	個人宅リフォーム工事において、ハンマーとスクレイパーにて台 所流し前壁タイルを解体作業中、タイルの破片が右目に飛んで来 て負傷した。痛みはあったものの我慢していたが、一部視覚が見 えなくなり、後日病院で受診する。	40	30202	4	10~ 29
2017	11	11~ 12	資材置場で路盤材を4tダンプから降ろしている最中、鉋碎の塊が 途中で引っ掛かり、手で小さな塊を取り除いたところ、その上の 大きな塊が滑り落ちてきて被災者の左手に直撃し負傷した。	51	30107	4	30~ 49
2017	12	13~14	当社の混炭場に隣接する石炭置場において、被災者と他1名の2名 で、積雪を防ぐ石炭養生を行っている各大型シート（1枚サイズ： 18m×18m）上の除雪とシート調整作業を開始した。除雪後、被 災者がズレ落ちたシートを引き上げる作業をしていた途中、突風 が吹いてシートが巻き上がり、体ごとシートに持ち上げられて、 後向きに3m程飛ばされ落下し、凍上石炭面に腰部を打ち負傷し た。	52	20101	3	10~ 29
2017	12	14~15	建物内部解体植栽伐採工事現場で、石をトラックに積み込む時、 体勢を崩してしまい、後ろに尻もちをつき、その際、持っていた	22	30209	4	1~9

			石を左足くるぶしに落としてしまい骨折した。				
2017	12	14~15	鉱過エプロンフィーダ内の鉱石がなくなった為、鉱石投入を行わない信号を送り、エプロンフィーダ内（幅約0.9m、高さ1.5m）の状態確認の為内部へ入った。内部左側から50cm大の鉱石が転がり落ち、ふくらはぎにあたり、衝撃で左膝が捻じれた。	33	20309	6	50~99
2017	12	19~20	レジでタバコを取りに行く際、保冷機に手をついたとき、上部のガラスが割れた。	21	80101	7	50~99
2017	12	9~10	外壁工事の際に、庭石、植木鉢を移動する際に腰を痛めた。	40	30209	19	1~9
2017	12	11~12	当社工場内の石置き場で、清掃および片付け業務をしていた際、突然、積んであった大きな石が崩れて落ちてきて、右足の足首辺りに当たった。激しい痛みとともに足が腫れてきて、自力で立てなくなったため、自宅に近い病院で受診したところ、足首を骨折していた。	28	150102	4	10~29
2017	12	5~6	客宅に朝刊を配達し、玄関を出たところで石に躓き転倒した。辺りはまだ暗く、足元に気がつかなかった。	79	80205	2	10~29
2017	12	20~21	ピザのトッピングをする場所の掃除をしている際、片手で石の板を押さえながら裏の部分を拭いたときにバランスを崩し、板が倒れてきて、左薬指を挟んだ。	34	80209	7	10~29
2017	12	11~12	水路工事現場で、バックホウを使用し、L型擁壁の据え付け作業を行っていた。L型擁壁が所定の位置に納まったので、吊りワイヤーを緩めたところ（バックホウのフックに掛けていたかは不明）、擁壁が被災者の方に倒れ、右足に接触し負傷した。L型擁壁の位置合わせをバールで行っていたところ、L型擁壁が倒れ始めたものである。	54	30107	5	1~9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html